

令和 7 年度沖縄空手会館指定管理制度運用委員会におけるモニタリングの  
検証結果について（令和 6 年度実績分）

- 1 施設名：沖縄空手会館
- 2 開催日時：令和 7 年 7 月 31 日（木）13:30～15:30
- 3 開催場所：沖縄空手会館会議室
- 4 出席者：委員 4 人中 4 人出席  
（委員長）沖縄空手研究所所長 嘉手苧 徹  
（委員） 沖縄税理士会 添石 理佐  
（委員） 公益社団法人沖縄県建築士会会長 伊佐 強  
（委員） 元・沖縄県平和祈念資料館職員 久部良 和子  
（事務局） 沖縄県空手振興課  
（指定管理者） 沖縄空手振興ビジョン推進パートナーズ
- 5 検証事項：沖縄空手会館指定管理（令和 6 年度実績）に係るモニタリングの実  
施結果
- 6 検証内容
  - (1) モニタリングは適正に行われているか
  - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
  - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われて  
いるか
- 7 検証方法
  - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
  - (2) 委員からの質疑・提言
- 8 検証結果  
前年度より実績は低下したものの、自主事業への取り組みに力を入れているこ  
とは評価できる。
9. 主な質疑・意見  
意見 1： 共用開始から 10 年近くたって修繕費も多くなると思われるが令和 8 年  
年予算分は加味していただきたい。  
回答 1： 1 件 20 万円以上の修繕は県が負担することとなっており、県としても  
令和 8 年度以降の予算確保に努めたい。  
意見 2： アンケートで若い世代の満足度が低いようだが、SNS から発信が重要  
ではないか。  
回答 2： （指定管理者から）SNS を積極的に活用したい。

意見 3 : モニタリング資料に資料室の利用状況や資料収集状況の評価が見当たらないが、文化遺産としての沖縄空手を発信する施設であるので、アカデミックな部分にも重点を置いてもらいたい。

回答 3 : 文化庁から沖縄空手会館が文化観光拠点として認定されたことから、文化庁事業を活用して資料等の充実を図ることとしている。

意見 4 : レストランの実績は増えているが、満足度は低下している。そのあたりの分析や数値目標の設定が必要ではないか。

回答 4 : (指定管理者から) 大型イベントがあるときなど、しっかり県と情報共有しながら数値目標を立てたい。

意見 5 : 北部にジャングリアがオープンし、近隣施設と連携して取り組んでいるようだが、沖縄空手会館も近隣施設と連携すると集客が増えるのではないか。

回答 5 : (指定管理者から) 夏休みイベントで資料室の見学や瓦割体験などのイベントをおきなわ工芸の杜と連携予定で、また、沖縄コンベンションビューローとは連携した事業を実施して集客に努めている。

## 10 会議の公開状況：公開